

## 未来を担う青年農林水産業者

部門	氏名（住所）	受賞理由
畜産	いくた ともゆき 生田 智之 （琴浦町逢束）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年に独立就農し現在新規就農4年目。1年1産するように観察管理を行い、課題が見つければ解決に向けて積極的に取り組んだ結果、繁殖成績は良好である。</li> <li>若者グループの仲間や先輩と情報交換を行い、日々の繁殖牛や仔牛の管理の向上を行っている。</li> <li>繁殖経営では、肥育農家が好む血統の仔牛生産を実践し販売価格の安定が図られている。また、受精卵の販売などにより畜産所得の安定を目指している。</li> <li>現在、JA鳥取中央和牛生産部役員を務めており、周囲の生産者の信頼も厚く、地域の牽引役として積極的に取り組んでおり、他の模範となる若き担い手である。</li> </ul>
園芸	かわせ ひさし 川瀬 悠 （倉吉市福守町）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年に就農し、現在新規就農4年目。同じような新規就農者に声をかけ、協同で露地の西瓜マルチ等の作業を助け合いながら行っている。</li> <li>生産部会での新規就農者研修会に積極的に参加し、生産部会の相談相手になっている。</li> <li>県外から就農した経験を活かし、令和6年からは倉吉西瓜生産部会内の産地振興プロジェクト部役員として新規就農者が増える中でのアドバイスを積極的に行っている。</li> <li>新規就農者との情報共有の場を作りリーダーシップを発揮している。</li> </ul>
園芸	こだに たくろう 小谷 拓郎 （八頭町南）	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統な野菜である<sup>ひろどめの</sup>広留野大根の産地を担うとともに、農閑期にはプロのスノーボーダーとして活動し、充実した「半農半X」を実践。</li> <li>品種選定、緑肥の活用、施肥設計の見直し、マルチ栽培の導入など、既存の考え方にとらわれず、新しい栽培方法を実践。</li> <li>令和6年度から広留野大根生産出荷協議会役員として、協議会の運営に携わる。</li> <li>若桜鉄道の景観を守るために組織されている「軽トラクラブ」に所属し、鉄道沿線の耕作放棄地の草刈り等を実施。また、地元の自警団に所属して、災害から地域住民を守るとともに、災害防止のために周辺の草刈り等を行っている。</li> </ul>

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	<p>なかむら さとし 中村 理司</p> <p>（鳥取市 河原町佐貫）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年に父より事業承継を受け、両親とともに主に梨、柿の栽培に取り組む。</li> <li>30 年以上専業で農家をしていた父から引き継いだ技術に加え、ジョイント栽培の導入や新品種の栽培（梨 新甘泉）、栽培環境の向上のためのほ場移転など、作業効率の向上や経営改善に積極的に取り組む。</li> <li>インターネット通販を活用し、販路の拡大を図っており、今後は海外への販売も視野に入れている。</li> <li>今年度より 1 名常時雇用を開始し、技術を引き継ぐなど対策を講じている。</li> </ul>
水産	<p>ふじわら だいすけ 藤原 大輔</p> <p>（鳥取市 気高町 八束水）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏泊地区において、平成 30 年 5 月より鳥取県漁業研修事業で独立に向け研修事業をスタート。その後鳥取県漁業経営開始円滑化事業の実施により中古漁船を改造して、令和 4 年 5 月に独立経営を開始。</li> <li>刺網漁業といか釣り漁業を主体に、資源動向の変化が激しい環境下でも安定した水揚げを確保。</li> <li>同地区内の若手漁業者の一人として、様々な事業や行事等にも精力的に参加するなど、周囲の評価も高く、信頼されており、鳥取県漁業協同組合夏泊支所において、地元漁業の将来を担う若手漁業者として期待されている。</li> </ul>
農産 林産	<p>ほんじょう あきら 本城 晃</p> <p>（鳥取市長谷）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取市大和地区の大規模水稻農家であり、高齢化で水田が作れなくなる人が多い中、地域の受け皿として農地を守る。</li> <li>水稻生産は地区全域に及ぶため、品種構成を考えて作期分散を行い、適期管理ができるよう配慮。</li> <li>しいたけ栽培にも力を入れており、過去 5 年ではだ木を 2,000 本増やすなど規模が拡大している。</li> <li>令和 4 年度にはスマート農業社会実装加速化総合支援事業により、自動操舵トラクターを導入したことにより、作業効率が向上し、栽培面積の拡大を達成。</li> <li>令和 2 年より鳥取地区椎茸組合連合会会長として、しいたけ生産者の先頭に立ち、県、市、きのこセンターなど関係機関との意見交換や指導研修を行うなど、しいたけ生産者の営農に貢献。</li> <li>令和 5 年より鳥取県指導農業士として新規就農者に対する技術及び経営に関する指導、助言を行う。</li> </ul>

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	めぐろ りゅうき 目黒 龍樹  （琴浦町法万）	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年に独立就農。袋かけ労力の少ない赤ナシを主力にし、労力に見合った栽培面積で営農。</li> <li>秋には王秋のコルク状障害対策で深耕ロータリーによる土壌改良を実施。</li> <li>現在、J A 鳥取中央琴浦梨生産部の果樹研究同志会長として 2 期（3 年目）務めており、同志会活動運営に尽力する。</li> <li>周囲の生産者の信頼も厚く、地域の牽引役として梨産地としての発展のため積極的に取り組んでおり、他の模範となる若き担い手である。</li> </ul>
園芸	もりもと なおき 森本 直樹  （北栄町大谷）	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農 11 年目。西瓜を経営の柱とし、ハウスの後作に切り花（ストック、アスター）を栽培。</li> <li>現在、大栄花き部会の役員を 5 期（9 年目）務めており、令和 6 年からは副部会長に就任。また、令和 6 年から大栄西瓜組合協議会指導部員も務めており花き部会と西瓜協議会運営に尽力している。</li> <li>周囲の生産者の信頼も厚く、大栄地区における花き、西瓜の発展のため尽力しており、他の模範となる若き担い手である。</li> </ul>
畜産	やました だいすけ 山下 大介  （大山町羽田井）	<ul style="list-style-type: none"> <li>自家育成による乳牛の改良と飼養環境の改善を進め、安定した生乳生産を実践。</li> <li>暑熱対策で二重屋根、ダクトファン、細霧装置による冷却装置等効果の高い技術を導入。また和牛繁殖牛を導入し、乳肉複合経営を実践。</li> <li>自給飼料生産では適期作業及び除草、獣害対策の徹底により高収量と高品質を両立し、飼料コストの低減を実践。</li> <li>自給飼料生産により地域農業の基盤維持に貢献。また、酪農教育ファームの認証牧場として、作業体験を通じた教育活動にも取り組んでいる。</li> </ul>
園芸	やました なおき 山下 直起  （湯梨浜町田後）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年に親元就農後、現在は独立就農し梨のハウス栽培に力を入れ、農業所得の高位安定化を図る。</li> <li>有望な品種（新甘泉他）においてジョイント栽培を積極的に導入し、作業の効率化、省力化及び経費削減に取り組む。</li> <li>年間様々な品種栽培（計 7 品種 68 a）に取り組み、技術の向上とリスク分散を図っている。</li> <li>果樹同志会での活動や、令和 3 年から果実部指導員となり、自らの技術の習得や情報収集、地域の技術向上に対する意識が高い。また、令和 6 年からは果実部役員に着任し、果実部や選果場運営に携わり、今後、若手のリーダーとして大変有望といえる。</li> </ul>